



ため池台帳システムに「ため池ハザードマップ」を取り込んだ活用事例を紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：佐賀県、県内20市町、水土里ネットさが

取組概要

内容： 県内で決壊の恐れがある危険度の高いため池を対象に、市町が主体となって「ため池ハザードマップ」を作成し、ため池台帳システムに取り込むことで災害発生時における地域住民自らの適切な避難活動の指針となるための体制を構築する。

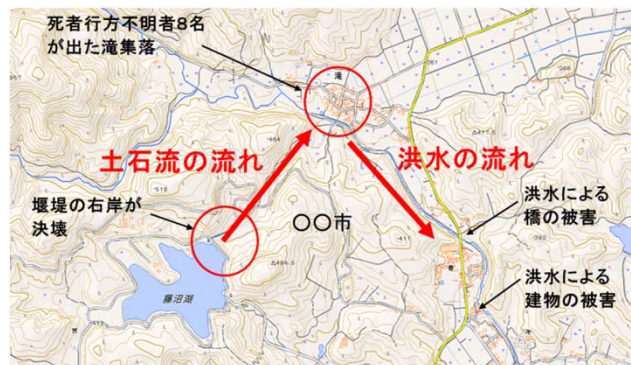
- 経緯：① 近年、大規模な地震が頻発しており、今後も多くの被害の発生が危惧されている。東日本大震災では、東北地方を中心にため池や排水機場などの農業水利施設が被災し、営農へ支障をきたすだけでなく、地域住民の生命、財産等にも甚大な被害が発生している。
- ② 農業水利施設や農道などの土地改良施設の中には、老朽化が進行した施設もあり、また、耐震性などの施設現況が不明のものが多く、耐震対策が遅れている状況にある。
- ③ このため、早急に施設の現状を確認して、耐震補強などの整備とは別に、ため池ハザードマップの減災対策を緊急的に実施した。
- ④ 水土里情報を活用したため池台帳システムに、ため池ハザードマップを取り込み、一元的な管理を行っている。

ため池決壊による災害事例

〇〇県 〇〇池の決壊

名称	〇〇池
貯水容量	約150万トン
建設年	1949年
目的/形式	灌漑用水/アースフィルダム
管理者	〇〇〇土地改良区
備考	3月11日の地震直後に決壊し、湖水がほぼすべて流出。下流で死者・行方不明者8人。

周辺位置図



堰堤の右岸が決壊



洪水による橋の被害



洪水による建物の被害

期待される効果

- ① ため池ハザードマップをため池台帳システムに取り込むことで、決壊の恐れのある危険度の高いため池の諸元情報や、構造的危険度判定、また下流状況判定と併せて、ため池下流域の浸水想定範囲を確認できる。
- ② 市町がため池を管理する際に、ため池台帳システムを活用することで、地域住民に対する災害情報、避難情報等の提供が容易になり、地域住民の防災意識の啓発や災害時の避難場所、避難経路の周知に役立つ。

ため池台帳システム基本画面

池番号	CODE	市町村名	ため池名	所在地	堤高	堤頂長	堤幅	堤厚	ため池面積
1	41200015	鹿嶋市	岳	鹿嶋市七	4.8	45	3.5	2214	0.01市町単.
2	41200016	鹿嶋市	木橋前中	鹿嶋市七	2.5	16	1.3	134	0.02市町単.
3	41200018	鹿嶋市	磯	佐賀市雄	4.5	59	7	2700	0.02市町単.
4	41200024	鹿嶋市	仁田野尾	佐賀市雄	3.3	55	3.3	1369	0.01市町単.
5	41204069	伊方市	上堤	伊方市伊	4.3	30	2	988	0.01外県上.
6	41200042	伊方市	落合	伊方市伊					
7	41200036	伊方市	主屋(上)	佐賀市伊					
8	41200005	伊方市	長田	佐賀市伊					
9	41200100	伊方市	船ノ坪	伊方市伊					

ため池台帳システム基本画面

ため池ハザードマップ

ポイントをクリック
ため池台帳個別情報画面

災害学習情報

今後の活用予定

ため池台帳システムへ、耐震性点検調査(ボーリング調査、安定計算等の検討)結果も取り込み、ため池の改修計画策定等の情報として活用予定。

■お問い合わせ先

佐賀県土地改良事業団体連合会 換地用地課 水土里情報推進室(矢ヶ部、中井) 0952-24-6273 (直通)
農林水産省 農村振興局整備部 設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2212 (直通)